

○ 大都市圏の成長を通じた日本の再生

(4) うめきた2期区域・中之島地区のまちづくりの推進

(内閣府・文部科学省・経済産業省・国土交通省)

【本市の提案・要望】

(うめきた2期区域における基盤整備の促進及び新産業創出機能の実現)

- 国際競争力の強化に資するJR東海道線支線の地下化及び新駅設置、土地区画整理事業、防災機能を有する都市公園整備を円滑に進めるための財源確保
- 新産業創出機能の実現に向けた研究開発プロジェクトへの国の財政支援や推進活動への支援及び国のイノベーション支援機関の関西における機能拡充

(中之島4丁目における未来医療国際拠点の形成)

- 中之島4丁目の未来医療国際拠点の形成を推進するための支援制度の継続並びに拡充

【現状・課題】

(うめきた2期区域における基盤整備事業の促進及び新産業創出機能の実現)

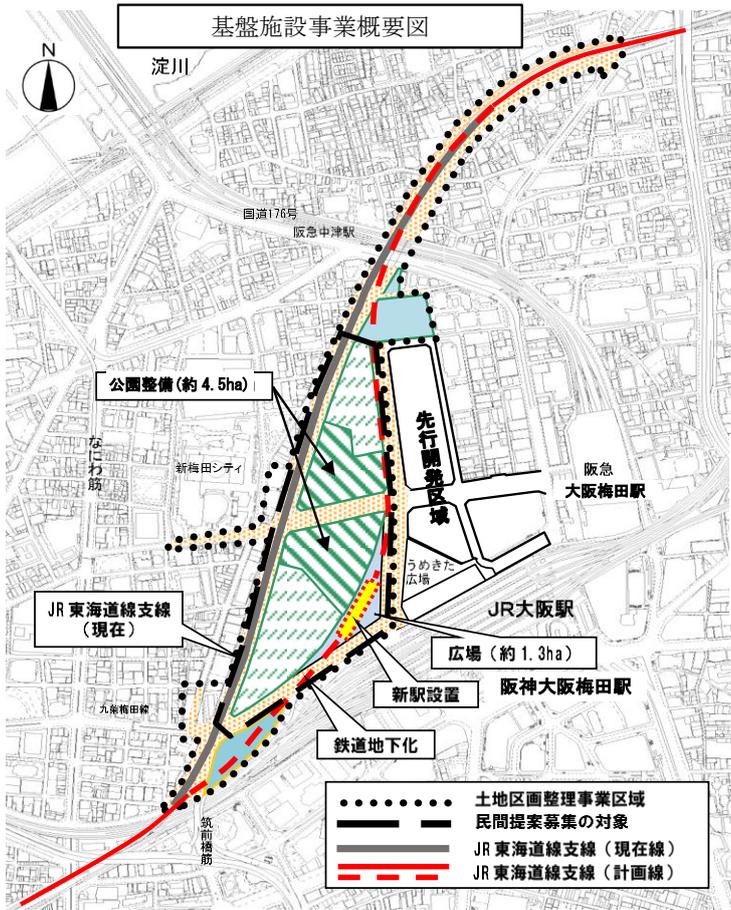
- うめきた地区では、国際競争力を高め、世界の都市をリードするまちづくりを実現するため、JR東海道線支線の地下化や関西国際空港と直結する新駅設置、土地区画整理事業、防災機能を有する都市公園整備といった基盤整備を実施しており、2024年の一部先行まちびらき及び2027年春の基盤整備完成をめざし、国際競争拠点都市整備事業及び防災公園街区整備事業に係る財源の確保が必要である。
- また、うめきた2期開発のまちづくりの目標である「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、経済界や行政、民間開発事業者等で構成する予定の総合コーディネーター機関において新産業創出機能の実現に向けた活動を進めていくこととしており、活動への国の支援や先駆けて取り組む研究開発プロジェクトなどへの財政支援が必要である。
- 2024年にはイノベーション関連施設の完成を予定しており、関西でのイノベーション創出拠点形成に向けて、研究開発から事業化に至るまでの支援措置を総合的に活用できる仕組みを構築するため、関西に設置されている国のイノベーション支援機関の支部等にも、研究資金を配分するファンディング機能を付与するなどの機能拡充が必要である。

(中之島4丁目における未来医療国際拠点の形成)

- 中之島4丁目地区においては、大阪府・市、経済界等との連携のもと、再生医療をはじめとする最先端の「未来医療」の産業化と、その提供による国際貢献を推進する未来医療国際拠点の形成を推進するため、拠点の施設整備に関する支援制度の継続並びに拡充が必要である。

担当：大阪都市計画局・建設局・都市整備局・経済戦略局・計画調整局

○うめきた2期区域



資料：うめきた2期開発事業者の提案内容を本市が編集

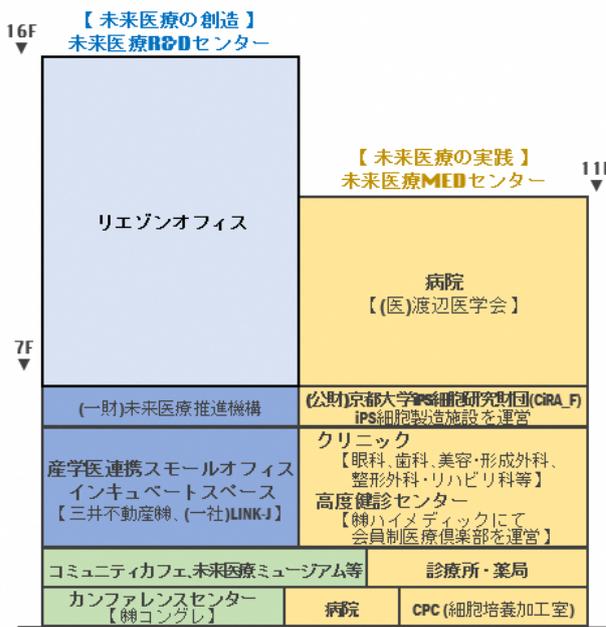
うめきた先行開発区域に国のイノベーション支援機関のうち、次の関西拠点が立地

- ・ JST (科学技術振興機構)
- ・ NEDO (新エネルギー・産業技術総合開発機構)
- ・ AMED (日本医療研究開発機構)
- ・ PMDA (医薬品医療機器総合機構)
- ・ INPIT (工業所有権情報・研修館)

うめきた2期の主なスケジュール

- 2023年春 新駅開業
- 2024年 一部先行まちびらき、主なイノベーション関連施設の完成(予定)
- (2025年 大阪・関西万博 開催)
- 2027年春 基盤整備完成予定

○中之島4丁目未来医療国際拠点



【未来医療の共有】中之島国際フォーラム



資料：開発事業者による事業計画書より抜粋

<コンセプト>

- 再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」の産業化を推進
- 国内外の患者への「未来医療」の提供により、国際貢献を推進

<施設整備の内容>

- 国際競争力強化に資する産学医連携の研究開発促進施設、カンファレンスセンター
- 周辺施設と連携しネットワークを形成する歩行者デッキ